

学生から見た自然エネルギー100%大学
あるいは、教員が見据えていること

学長プロジェクト4 サブリーダー
杉本卓也（政策情報学部）

SONEに関わる教員

- ▶ 杉本（政策情報学部）
学生側に、相当程度の裁量を認める
- ▶ 手嶋（基盤教育機構）
キャリア形成の観点からの指導も
- ▶ 田中（基盤教育機構）
専門知識レクチャーや外部との関わりで
- ▶ 江波戸（商経学部）
具体的な活動（打ち水）でのノウハウ

アクティブラーニング、なのか？

- 授業ではない、シラバスも書けない
 - ✓ 予め何をするか決めない
決めても良いが、「自主」「自発」が薄まってしまわないか？
 - ✓ **90分×15回、105分×13回**などの固定は、
実態の動きに馴染まない
 - ✓ 教員は、ルールを敷けない（敷かない）
- ※それでも活動を通じて、何かを学んでいると信じたい

目標
スローガン

自然エネルギー
100%大学

企画・準備・実施

座学のような、
演習のような、
実習のような

活動

A

B

C

D

E

学生団体 SONE

重視していること（私見）

- ▶ 学生が出柄を立てられる環境づくり
 - ✓ 自発性とモチベーション、活動の継続性
 - ✓ **SONE**が前に出ること
 - ✓ 評価・賞賛を受ける機会
- ▶ 学生が得る（獲得する）価値を理解する（させる）
 - **SONE**の活動そのものの価値
 - それに付随したり、紐づいてくる価値
 - 周囲からの協力の有難さ

どの程度の自主性を尊重するか？